

2026 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 共英製鋼株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 坂本 尚吾
 (コード番号：5440 東証プライム)
 問 合 せ 先 執行役員本社経営企画部長 増田 晶紀
 (TEL：06-6346-5221)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026 年 7 月 31 日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2027 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	362,000	15,500	14,000	8,400	193.29
今回修正予想 (B)	362,000	9,500	9,000	4,800	110.45
増 減 額 (B-A)	-	△6,000	△5,000	△3,600	
増 減 率 (%)	-	△38.7	△35.7	△42.9	
(ご参考)前期実績 (2026 年 3 月期)	315,106	16,967	16,211	9,864	226.98

2. 修正の理由

国内鉄鋼事業については、第 3 四半期連結会計期間以降（下期）においても建設用鋼材需要は低調な推移が予想され、製品出荷量は上期より回復するものの、計画を下回る見通しです。加えて、鉄スクラップ価格が想定を上回り売買価格差が計画対比で縮小することが見込まれるため、国内鉄鋼事業の業績は前回予想を下回る見通しです。

海外鉄鋼事業については、ベトナム、北米ともに事業環境は良好です。ベトナムおよびカナダの拠点は概ね計画通りの業績進捗を見込んでいますが、米国拠点については、現行設備の老朽化に伴う生産不調が断続的に発生していることなどから引き続き赤字が見込まれます。加えて、現行設備の耐用年数短縮に伴う減価償却費の増加など一時的な損失を織り込むことから、下期も厳しい業績となる見通しです。これらにより、海外鉄鋼事業全体の業績は前回予想を下回る見通しです。

以上により、通期の業績予想について、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正いたします。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上